

■「領域専門演習」長嶋担当テーマの紹介■

個別トレーニング道場：

先進テクノロジーの達人を目指そう

領域専門演習「長嶋仮ゼミ」の目標は、後期から「総合演習」に向かっていく本物の実力を養成することです。そのため、学生ごとに追求する個別テーマを相談して定め、火曜1-2限に縛られず毎週の課題特訓を進めると共に、長嶋ゼミ(水曜2限)に参加して院生/4回生と交流し情報交換します。テーマの候補としては、エレクトロニクスの基礎をしっかりと学ぶ[←チームラボに行ったゼミ先輩を支えた]、プログラミングを特訓してArduinoやMax8を本当の意味で「使いこなせる」ようになる、多種のセンサを手当たり次第に実験してモノにする、オープンソースのマルチメディア・プログラミング環境であるProcessingを会得する、Max8をベースとした本格的なメディアアートの実験/試作など、後期から「総合演習」に向かっていく基礎を養成していきます。参加形態としては、前半/後半だけの7週、前半後半を通して14週(+最終合評)「長嶋仮ゼミ」、のいずれでもOKです。

「電気やプログラミングは理系の世界だから苦手」というのは間違いです。文系出身でも論理性をトレーニングして成長し、プロのプログラマー/デザイナーとして活躍している先輩はたくさんいます。インタラクティブなシステムを実現するために、オープンソース文化を活用し、システムをデザインする「勘所」をマスターして、自在に作品を制作できるようになる基礎をしっかりと学びたい人はぜひ参加して下さい。

なお、前期金曜2限の専門科目「音楽情報科学」(長嶋)では、主として錯覚やメディア心理学をテーマとしてMax8を活用しますが、「Max8とArduinoやProcessingとの連携」の話題も取り上げる予定ですので、領域専門演習「長嶋仮ゼミ」とともに「音楽情報科学」も履修すると、「一粒で二度美味しい」ことになります(^_^)ので検討してみてください。この科目の履習条件については掲示されています。

以上